



異教預防路

1254



414
A 4164



天主耶穌ノ教漸ク浸淫シ人民彼ニ惑溺セスルニ
 耶穌教專ク中人以テ誘フ其計深且遠之ヲ防ノ
 策容易ニ論シカメシ今姑ク之ヲ措ク天正教ハ專ク下
 民ヲ誣引ス今試ニ之ヲ預防スルノ策ヲ論セシ夫國内衆
 民神ニ歸セサレハ必ス佛ニ嚮テ是ノ民心ヲ教育シ神佛
 ニ道相扶ケ以テ人心ヲ維持スルニ由スハ異教惑溺
 ノ患ヲ免レ難シ若強テ一道ニ歸セシメント欲セハ却テ人心
 ヲ動シテ防邪ノ為ニ其益ナカラシ故ニ更ニ神佛ニ教相扶
 預防スルノ策ヲ建ツ曰規式曰教諭コノ二科以テ衆民ノ
 身心ヲ維持セハ異教隨テ入ルニ由ナカラシ

大正十一年四月
大隈侯爵邸奇贈

規式

- 一 氏子改宗門改ノ式ヲ嚴ニスヘキ事
- 一 人生ヲ三十日必ス先ツ氏社ニ参シ氏子改ノ印札ヲ受ケ次ニ檀那寺ニ詣シ宗門改ノ印札ヲ受ケテ死セル時ハ其印札ヲ社寺ニ収メシ
- 一 男ヤ冠筭婚烟等必ス社及寺ニ告メ後ニ行フヘシ
- 一 他所及他管轄所ハ嫁入子及移住等此社寺ト彼社寺ト其印札ヲ取替フヘシ
- 一 人別ニノ印札須臾モ離スヘカラス
- 一 旅行必ス社寺ニ告テ後ニ發スヘシ

- 一 客舎必スニ印札ヲ改テ後テ宿ヲ許スヘシ
- 一 一年一度社寺共人別ノ印札ヲ檢査スヘシ
- 一 社寺檢査限年々其地方官ニ納メシ
- 一 毎月朔望ヲ休日トシ朔日ニハ人別必ス其氏社ニ参シ望日ニハ必ス其檀那寺ニ詣スヘキ事
- 一 朔望ノ外更ニノ休日ヲ定メ教諭日トスヘシ
- 一 社寺共参詣人名ヲ認メシ
- 一 朔望ノ外教々参社詣寺ハ随意タルヘシ
- 一 惑溺後ノ刑ヲ定ムヘキ事
- 一 已惑ノ徒今後一年間教諭ヲ加ヘ若改心セサル

輩ニ於テハ墨刑タルニ新惑徒亦同之

額上墨刑ヲ加フル時ハ人自ラ交ヲナサス故ニ其

邪執他ニ傳染スルノ患ヲ免ヤレシ

一向後新邪執徒ヲ出サハ其社務寺務及區長其實

アルニ事

一僧尼亦伊勢參宮ヲ許スニ事

一寺院亦神棚ヲ安置スニ事

教諭

一防邪ノ人材ヲ選舉スニ事

一官省中教導局ヲ置クニ事

專務ノ局ヲ置キ專任ノ人ヲ選擇スルニ事

ハ防邪ノ實効ヲ得カタカルヘシ

一神佛ニ教ヲ宣布スニ事

互ニ相仇視セサルノ處置アルヘシ

一府縣ノ大小ニ隨ヒ教官二三員ヲ置クニ事

府縣共典事ヲ置キ文ヲ掌トラシメテ可ナラシ

一教導局中巡察ヲ置キ時々各地巡察スニ事

一各地方教諭ノ人ヲ選用スニ事

一社寺共一月ニ會教諭スニ事

- 一 朔望ノ外ホニ休ワ定メ教諭日トスヘシ
- 一 教諭ノ席其地方官員一二人出席スヘシ
- 一 地方一里ニ一教場ヲ置クヘシ

其地便宜ノ社寺ヲ以テ可ナラン

- 一 二會ノ外各社各寺平常態懃教諭スヘシ
- 一 人民神佛歸向ハ其墮意タラシムヘキ事
- 一 教場説諭ノ席神道ヲ説ク者ハ神職服ヲ着キ神道ハ僧服タルヘキ事

強テ形服ヲ改メシムルトキハ衆人ノ心ヲ動シ防邪ノ為ニ其益少カレヘシ

已上預防ノ策ヲ略論ス其施設ニ至ラハ更ニ細論アルヘシ若規式ヲ守ラス教諭ヲ受サル後ニ於テハ其罰ナクシハアルヘカラス

